



CLUB BULLETIN

R. I. 第 2530 地区

いわき勿来ロータリー・クラブ

会長 鈴木修一郎
幹事 鈴木 雅之
SAA 矢代 昭雄
会報小 児玉 健二
委員長

2010～2011 年国際ロータリーのテーマ

○例会日 毎週水曜日 (12:30～13:30) ○事務所 いわき市植田町中央一丁目 6 番地の 9
○例会場 ホテルミドリ 〒974-8261 ホテルミドリ内
TEL0246-62-3737

第 2397 回 例会 平成 23 年 2 月 23 日 (水・晴)

会員卓話

高瀬 政男会員

◎会長報告 - 鈴木修一郎会長

皆さん、今日は。今日も演壇の美しい花を愛でながら会長報告をさせて戴きます。まず、最初にニュージーランドの地震です。改めて他人事では無いと感じ富山から、英語の勉強に行かれている生徒さんの安否が気になります。国内においても九州の新燃岳の噴火もあり自然の力に人間は敵わないということを感じられます。人間の環境破壊に対する警告にも思えます。さて、2月18日に鮫川橋の車道開通式に参加して参りました。朝10時より安全祈願祭を行いました当日は嵐のような天候でテントが飛ばされるんじゃないかと思いきや式典に参加しました。式典が終り渡し初めの頃には天候も落ち着き歩いて来ました。来月18日には歩道も開通することになっており、来年度には古い橋の解体工事が始まる予定です。古い橋の跡地をどのように活用するか委員会を立ち上げ協議して行きましようという話でした。地域の皆さんに利用して戴こうという流れになっております。念願の鮫川橋があのように立派に繋がって植田、錦地域が深い絆で結ばれ勿来地区発展の拠点になれば良いと感じております。これを機会に川と橋と河川敷が地域の活性化の起爆剤になればと参加された皆さんも話されていました。私からは以上です。

◎幹事報告 - 鈴木雅之幹事

・今日2月23日はロータリークラブ発足第一回目の

ロータリーソング

ー今月は世界理解月間ですー

4つのテスト
峯口 馨 会員



会合の日です。ロータリーの友にも載っておりました。2月号のロータリーの友に大橋ガバナーの次世代に引き継いで行きたいものという記事が記載されておりました。その中に襷(たすき)のことが載っており、奉仕の理想を掲げた襷が受け継いで行きたいと思いました。先日のIMで当クラブの会員全員で襷を掛けましたがこの襷を奉仕の理想と共に受け継いで行きたいと思いました。

- ・ロータリークラブ日本財団室よりお知らせが届き財団が公益法人に認定されましたので税制上の優遇が受けられるようになりました。
- ・植田ふれあい広場開所1周年式典に私が代表で出席して参りました。内容については回覧中です。
- ・本日18時30分より50周年記念式典の打合わせを行う予定ですので委員の皆さんの出席を宜しくお願いします。
- ・IMの支払い伝票をお持ちの方は早急に私へお願いします。
- ・インターアクトクラブ第17回年次大会の資料を回覧中です。
- ・いわき鹿島ロータリークラブより3月のプログラムが届いております。
- ・福島県いわき市振興局長より補助事業申請の案内が来ております。
- ・3月のロータリーレートは1ドル84円で2月と同じになります。

◎各委員会報告

◇出席委員会 - 峯口副委員長

本日の出席状況は前頁下記の通りです。宜しくお願い致します。

◇スマイルボックス委員会

ー坂本委員

・ロータリー創

立記念日並びに高瀬政男会員の卓話を歓迎して。鈴木、矢吹、生駒、渡辺(勉)、金成、松崎、佐久間、富岡、佐藤(政)各会員及び渡邊公平ガバナー補佐、鈴木(修)会長、高萩副会長、赤津会長エレクト、鈴木(雅)幹事

・ゴルフ愛好会で優勝させて戴きました。山下会員・前回例会休んでごめんなさい。

小熊、渡邊(國)、峯口各会員

◎インターアクトクラブ報告 - 齊藤隆会員

先週2月15日、16日に天栄村で行われた国際理解研修会に磐城農業高校インターアクトクラブの生徒さんと顧問の金成先生と一緒に参りました。ホスト校は喜多方桐桜高等学校で喜多方ロータリークラブのスポンサーで行われました。目的は国際理解と国際交流で1日目は留学生を交えて英会話や国際交流を深めて来ました。2日目は3グループに分かれてお菓子とキャンドル作りを体験して参りました。なお、3月16日の例会で磐城農業高校インターアクトクラブの金成先生と3名の生徒さんが研修会の発表をする予定になっていますので宜しくお願いします。以上で報告を終わります。

◎会員卓話 - 高瀬 政男会員

皆さん、今日は。今日2月23日は、ロータリーの創立記念日なのでロータリーの歴史についてお話をし



たいと思います。3人の仲間とロータリーを作ったポール・ハリスは1891年にアイオワ州の大学を卒業後人生経験を得る為さまざまな職業についたそうです。新聞記者、俳優、大学講師、家畜運搬船等で多くの国々を放浪し最後にシカゴに移り1896年弁護士を開業しましたが、当時シカゴは新大陸発見400年で万国博覧会等で農作物の価格下落、大火災、ゴールドラッシュで全米から金鉱探しの人々が集まり物を買ってもお金を払わない俺の物は俺の物、人の物も俺の物という商業道徳の退廃、悪徳と腐敗の町と



シカゴの町はレッテルを貼られました。シカゴに住む人々はお互い食うか食われるか死ぬか生きるかの時代だったとロータリーの友で発行されたロータリーモザイクに書かれています。このような現状を聞いた青年弁護士ポール・ハリスは奉仕の精神によって人の和を図ることこそより良い社会を作り出す道だと訴え、石炭商のシルベスター・シール、洋服仕立屋のハイランド・ショウレイ、鉱山牧師のガ・スター・バスの友人3人と語らってこの理想を広く人々に呼びかけようと第1回の会合を開いたのは今から106年前の今日シカゴロータリークラブの誕生だった訳です。ポール・ハリスの孤独に堪えられぬ心情から生まれた構想と粘り強い意志それに3人の同志がここに揃ったのです。その翌日3人が6人になりましたが何れも故郷を遠く離れシカゴに出て来ており、お互い故郷を憶い友情に飢えていました。会合も友情とお互いを助け合うことに過ぎなかったようです。日本で一番最初のロータリアンは東京ロータリークラブを作った米山梅吉さんと思っている方が多いようですが、それは間違いです。米山さんがダラスを訪問した時ダラスロータリークラブに在席している福島さんと出会いました。福島さんが日本人第1号のロータリアンです。佐賀県有田出身で三井物産に勤務し1905年に渡米1915年にダラスロータリークラブに入会された方でした。初めて福島さんと会った米山さんは初めてロータリー運動に接し大いに心を動かされ1920年には福島さんも帰国し在日米国人実業家ウィリアム・ジョンと具体的な準備が進み、1921年4月1日に世界で855番目のクラブとして加盟が承認されました。創設当初は会員の興味も薄く出席率が悪かったり、定款、細則の関心も無く、例会も定期的に行えずR Iから連絡も英文だった事、1923年には福島が大阪へ転勤になったこともクラブの存続が危ぶまれた雰囲気が漂っていました。そのクラブに喝を入れたのは幸か不幸か1923年9月1日に発生した関東大震災で日本のロータリーを大きく変えることになりました。この情報を聞いた当時のR I会長は創立3年目の東京ロータリークラブへお見舞いの電報と共に25,000ドルを大阪ロータリークラブ経由で送金して来ました。また、シカゴクラブ15,000ドル、サンフランシスコクラブ、ニューヨーククラブから1,000ドル等アメリカ、イギリス、カナダを始めとして503クラブから義援金や救援物資が送られ、その総額は89,000米ドルで日本円にすると3億円以上に達しました。

出席状況

正会員数 57名
本日の出席率 82.00%

修正出席率 92.00%